

都市再生整備計画（宇都宮大学東南部地区）事後評価の概要

（1）計画概要

- 【地区名】宇都宮大学東南部地区
- 【面積】96.3ヘクタール
- 【交付期間】平成20年度～平成24年度
- 【交付対象事業費】約5.1億円（国費率40.0%）
- 【区域】平松町・平松本町・峰町・東峰町・石井町の各一部

（2）まちづくりの目標

- 【大目標】
高齢者、子育て世代が安全に、かつ安心して居住できるまちづくり
- 【小目標】
- 道路網の整備により、児童生徒の通学路における交通危険箇所を減らし、あわせて公園を整備し、子育て世代が安心して居住できる環境を確保する。
 - 狭隘道路の解消によって、万が一火災が起きた際の類焼を予防し、かつ消防車・救急車等の緊急車両の通行を容易にする、また、一時避難策として公園を整備するとともに、雨水貯留管及び河川管渠を整備し、地区の災害に対する安全性を高める。
 - 整備計画の周知、公園整備のワークショップの開催等を通じて、地区住民のまちづくりに対する関心を高め、まちづくりへの意識の向上を図る。

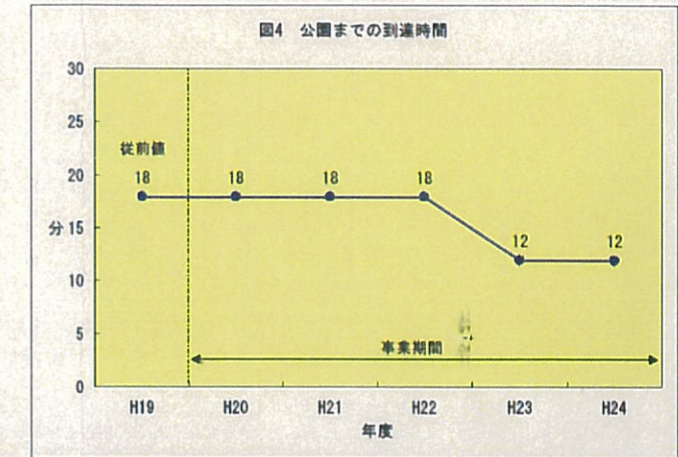
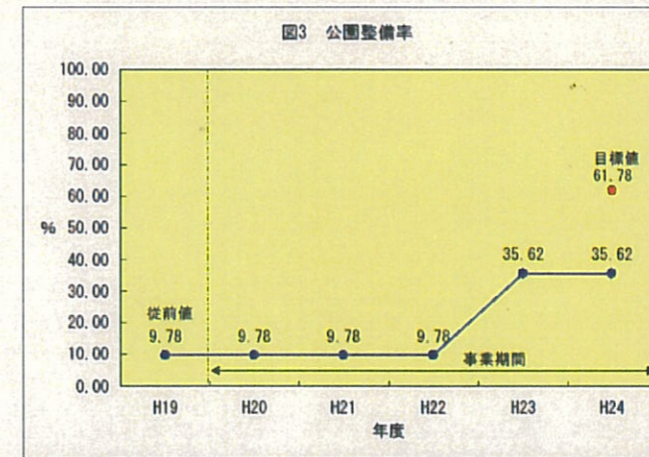
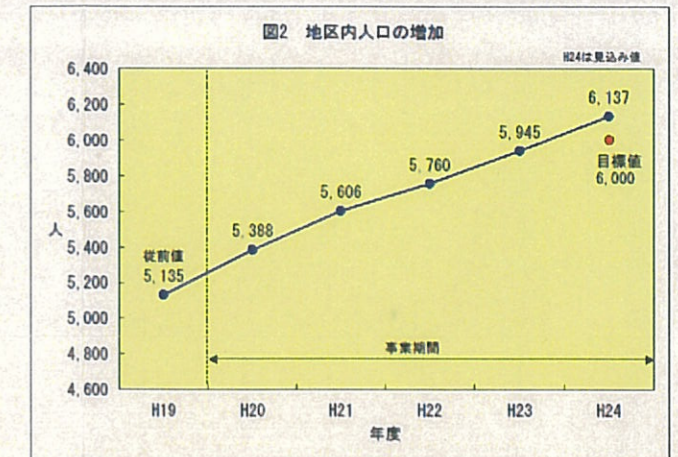
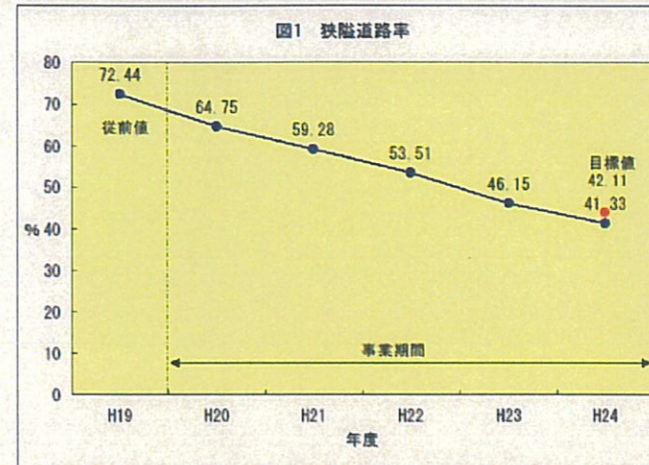
（3）目標の達成状況

指標	単位	従前値	目標値	事後評価	備考
①狭隘道路率	%	72.44 (H19)	42.11 (H24)	41.33 (H24)	計画的に建物移転を実施し、区画道路を整備してきたことで目標値を達成した。
②地区内人口の増加	人	5,135 (H19)	6,000 (H24)	6,137 (H24)	道路や公園等の公共施設の整備により、魅力的な居住地が形成されたことで、地区内の人口が増加した。
③公園整備率	%	9.78 (H19)	61.78 (H24)	35.62 (H24)	目標値の達成には至らなかったものの、街区公園の整備に伴い、公園整備率は向上した。
④公園までの到達時間	分	18 (H19)	-	12 (H24)	地区内及び地区周辺における公園や道路の整備が行われたため、一時避難としての公園までの到達時間が短縮された。
その他					

注) ④は、当初設定した数値目標以外の指標（参考値）

（4）実施課程の評価

- 【モニタリング】実施なし
- 【住民参加プロセス】地元自治会と共に公園設計についてワークショップを開催
- 【持続的なまちづくり体制の構築】公園愛護会への参加に向けた働きかけを行う



（5）まちの課題の変化

- 区画道路の整備により、狭隘道路や行き止り道路の解消が図られた。また道路整備に伴う家屋移転により老朽住宅の建て替えが進み、防災面での改善が進んだ。
- 良好な市街地が形成されつつあることから、不法投棄が減少した。また公園整備により、地区住民の憩いの場が形成された。
- 土地区画整理事業と並行して実施されている公共下水道整備事業により汚水管の整備が行われており、道路の開通と汚水の供用開始が同時になされ、地区内の生活環境は改善されている。また雨水貯留管、雨水管渠、河川管渠の整備により、地区内の水捌けも改善されつつある。

（6）今後のまちづくり方策

まちの課題	まちづくり方策
道路整備による利便性の向上	区画道路に加え、都市計画道路の整備率向上を図ることで、地区内の交通面での利便性の向上に努める。
魅力的な住環境の形成による人口の定着	更なる公園整備率の向上を図ることで、地区住民にとって魅力的で安全・安心な住環境を整え、人口の定着に努める。
都市型水害対策の推進	治水安全度のいっそうの向上を図るため、引き続き河川管渠整備を推進する。